



2025年3月期第1四半期 決算概要

2024年8月1日

カシオ計算機株式会社

全社連結実績

単位:億円

	第1四半期(4月~6月)		
	2023年度実績	2024年度実績	前年比
売上高	627	652	104%
営業利益	43	45	105%
営業利益率	6.9%	6.9%	
経常利益	61	56	91%
当期純利益	34	62	179%
1株利益(円)	14.48	26.74	

平均為替 レート (円)	米ドル	137.4	155.9
	ユーロ	149.5	167.9
	人民元	19.6	21.5

セグメント別実績

単位:億円

		第1四半期(4月~6月)		
		2023年度実績	2024年度実績	前年比
時計	売上高	384	409	106%
	営業利益	56	59	3
	営業利益率	14.5%	14.4%	
コンシューマ	売上高	208	212	102%
	営業利益	10	11	1
	営業利益率	4.8%	5.3%	
システム	売上高	13	12	93%
	営業利益	-2	-4	-2
	営業利益率	-	-	
その他	売上高	22	19	89%
	営業利益	-6	-6	0
	営業利益率	-	-	
調整額	営業利益	-15	-15	0
合計	売上高	627	652	104%
	営業利益	43	45	2
	営業利益率	6.9%	6.9%	

※当第1四半期連結会計期間より、「システム」の事業分野、収益構造の変化に対応した業績管理区分の一部見直しを行い、従来「システム」に計上していたハンディターミナル、電子レジスターの事業を非継続事業として「その他」に計上(前期実績についても同様の記載)。

当該第1四半期連結会計期間の「その他」に含まれる非継続事業:売上高11億円、営業利益▲6億円

全社連結実績

単位:億円

			2025年3月期
	上期	下期	通期
売上高	1,375	1,375	2,750
営業利益	80	80	160
営業利益率	5.8%	5.8%	5.8%
経常利益	75	75	150
当期純利益	50	50	100
1株利益(円)	21.76	21.93	43.67

セグメント別実績

単位:億円

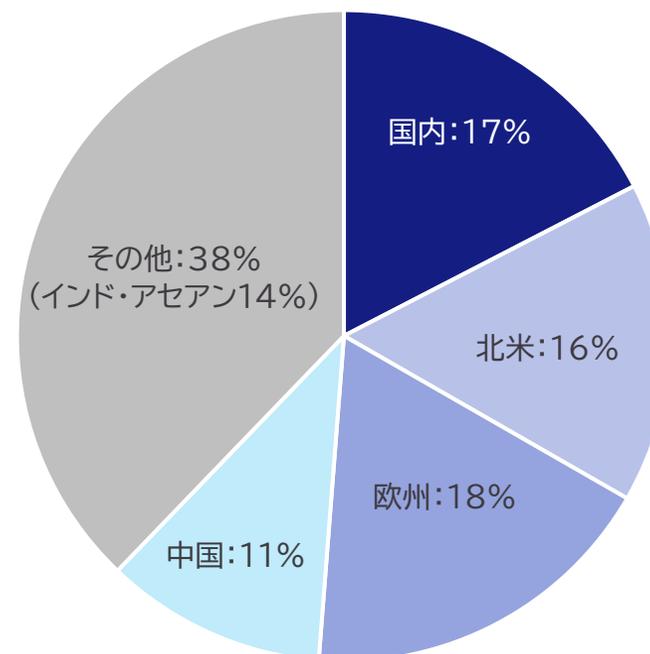
				2025年3月期
		上期	下期	通期
時計	売上高	830	870	1,700
	営業利益	105	115	220
	営業利益率	12.7%	13.2%	12.9%
コンシューマ	売上高	460	430	890
	営業利益	20	10	30
	営業利益率	4.3%	2.3%	3.4%
システム	売上高	40	40	80
	営業利益	0	0	0
	営業利益率	0%	0%	0%
その他	売上高	45	35	80
	営業利益	-15	-15	-30
	営業利益率	-	-	-
調整額	営業利益	-30	-30	-60
合計	売上高	1,375	1,375	2,750
	営業利益	80	80	160
	営業利益率	5.8%	5.8%	5.8%

単位:億円

	第1四半期(4月~6月)		上期(期初計画)	通期(期初計画)
	前期	今期		
売上高	384	409	830	1,700
営業利益率	14.5%	14.4%	12.7%	12.9%

- 売上高は中国の大幅な減収により、対前年同期比(現地通貨ベース)-3%の減収
- G-SHOCKの販売個数が減少もCASIOブランドは好調に推移

地域別売上高



G-SHOCK比率 (BABY-G含) 約49%(メタル約14%・プラスチック約35%)

G-SHOCK売上個数 約165万個 (内BABY-G 約20万個) ※前期1Q約190万個(内BABY-G 約20万個)

G-SHOCK(メタル・MR-G)

- 初代モデルのスクエアデザインをフルメタル化した『GMW-B5000D/B5000GD』はアジアを中心に好調継続
- 最上位シリーズMR-Gの新製品『MRG-BF1000B』『MRG-B2100B』が日本で好調



G-SHOCK
『GMW-B5000D』



G-SHOCK
『GMW-B5000GD』



G-SHOCK
MR-G
『MRG-BF1000B』

G-SHOCK(スポーツ)

- 日常の健康管理からランニングの持久力強化まで幅広く役立つ『GBD-200/200SM』が、欧州・その他地域で好調
- 心拍計とGPS機能を搭載した『GBD-H2000』は北米で堅調



G-SHOCK
G-SQUAD
『GBD-200』



G-SHOCK
G-SQUAD
『GBD-200SM』



G-SHOCK
G-SQUAD
『GBD-H2000』

G-SHOCK(プラスチック)

- 『GA-2100』、『GA-B2100』など八角形フォルムの2100シリーズがグローバルで堅調に推移
- 自由なカスタマイズを楽しめる新シリーズBABY-G+PLUS『BGD-10K』がアジアで人気



G-SHOCK
『GA-B2100』



G-SHOCK
『GA-700』



BABY-G+PLUS
『BGD-10K』

その他

- 欧州を中心にカラーダイアルのEDIFICE、CASIOブランドが好調に推移



EDIFICE
『EFR-S108DJ』



CASIO Collection
STANDARD
『MTP-1302D』

前年同期比(現地通貨ベース) 全体:-3%

国内:+5%

- 百貨店流通・直営店舗・ECで高価格帯のメタルモデルが好調
- 訪日外国人の増加に伴い、インバウンドが売上を押し上げ

北米:+2%

- 店舗減少の影響が残るも、ECが新製品の販売を牽引し、緩やかに回復
- ジュエラーや直営ECで高価格帯の販売が好調

欧州:+6%

- CASIOブランド(ヴィンテージ/メタルアナログ)の好調が継続
- フランスの成功事例を横展開したスペイン・イタリアが好調

中国:-31%

- 618商戦期は、経済の低迷が続く中で生活防衛意識が高まるなど、消費マインドが更に悪化し、苦戦

その他:-2%

- インドは2大アンバサダーに加え、トップアスリートによる「TEAM G-SHOCKキャンペーン」により、オフライン、オンライン共に好調を持続
- 香港が前年比大幅な減収
- アセアンはシンガポール、タイが低調に推移

地域別構成比(円ベース)	国内17%・北米16%・欧州18%・中国11%・その他38% (インド・アセアン 14%)
EC販売比率	全体 20%台半ば・国内 30%強・北米 40%台半ば・欧州 30%強・中国 40%強
自社EC販売	前年同期比 国内1.1倍・北米1.2倍・欧州1.2倍

■EdTech(教育)

単位:億円

	第1四半期(4月~6月)		上期(期初計画)	通期(期初計画)
	前期	今期		
売上高	164	167	350	640
営業利益率	14.1%	13.9%	11.4%	9.4%

※1Q実績

売上高 : 関数・一般電卓 約87% 電子辞書他 約13%
 営業利益率 : 関数・一般電卓 約20%
 営業利益 : 電子辞書他 約-6億円

- 関数電卓は計画線で推移

■サウンド(楽器)

単位:億円

	第1四半期(4月~6月)		上期(期初計画)	通期(期初計画)
	前期	今期		
売上高	44	45	110	250
営業利益	-13	-12	-20	-30

- 一部の地域では在庫調整が進むものの、需要回復に時間を要している
- 欧米はインフレ影響による需要の低迷が見られる

単位:億円

	第1四半期(4月~6月)		上期(期初計画)	通期(期初計画)
	前期	今期		
売上高	13	12	40	80
営業利益	-2	-4	0	0

HRソリューション事業(CHS)

- 人事統合システムADPS顧客のリプレース対応を継続
- 既存顧客へクラウド型のタレントマネジメントサービスのクロスセルを推進

小規模事業者向け経営支援事業(SMB)

- インボイス需要の取り込みは一段落
- クラウド型の受発注システムにより、小規模事業者の電子取引を推進

カシオ時計50周年:「G-SHOCK」を主軸に、「CASIO WATCH」も注力、強力2軸で成長回帰へ

高価格

G-SHOCK

- ・ 中高価格帯(メタル中心)成長戦略の継続注力
- ・ 低価格BASICモデルの値上げ影響への対応

商品) 好調な2100シリーズを含め、新製品発売
エリア共通の注力モデルを設定して徹底訴求

販促) インド・アセアン地域におけるG-SHOCK専売店の展開加速
ローカルに根付いたインフルエンサーマーケティング推進



新製品 ...

8月発売予定



プライスポイントに合った新商品展開



G-SHOCK(BASIC)の価格上昇

- ・ 部材高騰対応
 - ・ 新興国のローカル通貨下落に伴う価格上昇
- ⇒ G-SHOCKエントリー需要に合った商品が不足

価格帯

CASIO WATCH

好調に推移: G-SHOCKより低価格のプライスゾーンの需要(G-SHOCKとはターゲットユーザーが異なる)

販促) 新たな価値の提供(Coolイメージの訴求)により新規ユース層獲得
CASIO WATCH専売店の急速拡大、セレクトショップの新規開拓



低価格

インドにおける成長戦略

- 5大都市におけるブランド認知拡大に向け、2大アンバサダーを通じたマーケティングとインド限定「TEAM G-SHOCK」立ち上げ
- 商品企画、開発のローカル化を進め、現地生産モデルを拡充

【2大アンバサダー】



【TEAM G-SHOCK】



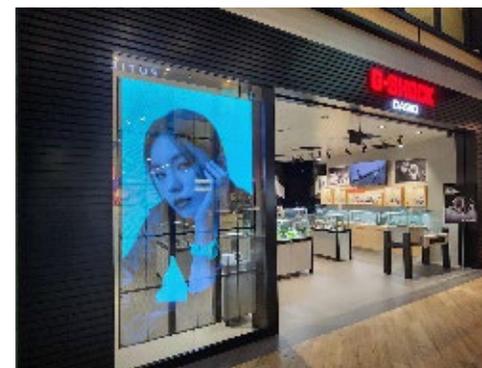
国内

- MR-GなどG-SHOCKプレミアムジャンルの規模拡大
- TEAM G-SHOCKを活用した流通構築



アセアンにおける成長戦略

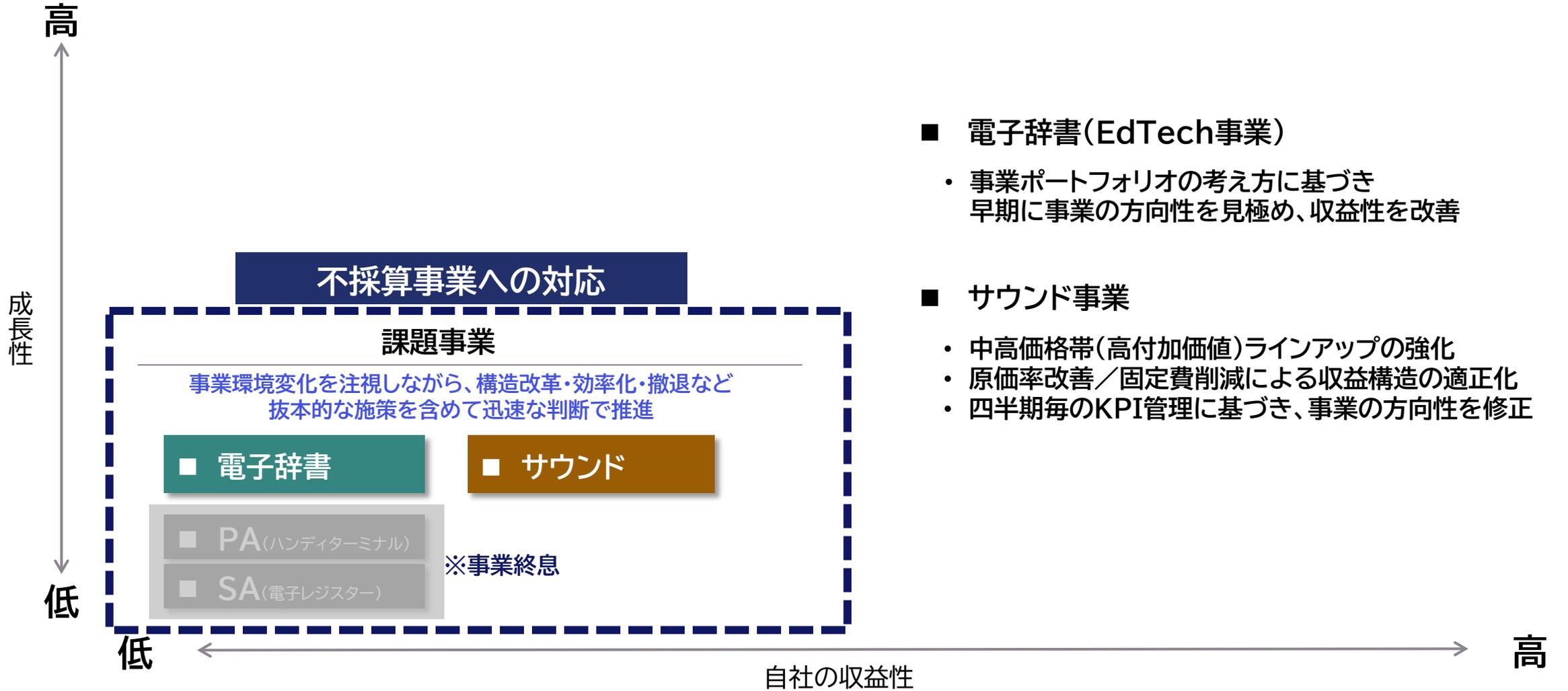
- 成長ポテンシャルの高い国の優先順位をつけ、店舗、ローカルマーケティングの施策を強化
- アセアンエリア共有のモデルを強化
- G-SHOCKストア、CASIOブランドの販売の規模拡大に向けた専用店舗の出店加速
- 国を横断し、ローカルに根付いたストリートファッションやミュージックコミュニティとのプロモーションを企画



D2C比率向上策（北米／欧州で強化）

- 欧米における直営ECの体制強化
- 北米におけるポイントプログラムを見極め、他先進国へ横展開
- 直営専用モデルの投入





■ 電子辞書 (EdTech 事業)

- ・ 事業ポートフォリオの考え方に基づき
早期に事業の方向性を見極め、収益性を改善

■ サウンド事業

- ・ 中高価格帯 (高付加価値) ラインアップの強化
- ・ 原価率改善 / 固定費削減による収益構造の適正化
- ・ 四半期毎のKPI管理に基づき、事業の方向性を修正

経営基盤 の強化

構造改革の進捗について

- ・中国については、先行して第1Qで構造改革を実施
- ・他の地域についても計画通り推進

■構造改革による固定費の削減

- ・人員構造の適正化
- ・グループ全社で約500人規模を想定
 - ⇒ 来期(2026年3月期)以降の固定費を約50億円削減

補足資料

時計事業50周年を記念したカシオ時計ブランド横断モデル



当社は1974年に、デジタルウォッチとして世界初のオートカレンダー機能を搭載した「カシオトロンQW02」を発売し、時計事業に参入した。時刻はもちろん、月・日・曜日まで正確に表示する「完全自動腕時計」を目指し、標準電波受信機能やモバイルリンク機能、ソーラー充電システムなどユーザビリティを追求した先進機能を搭載しながら、ライフスタイルに寄り添う個性的なブランドを展開。

時計事業50周年を記念し、ブルーとゴールドのアクセントカラーで明るい光が降り注ぐ空と海を表現した『Sky and Sea(スカイアンドシー)』を6つのブランドから6月7日より発売した。

ナイジェリア向け関数電卓発表会を開催



fx-9910NG PLUS 2nd Edition

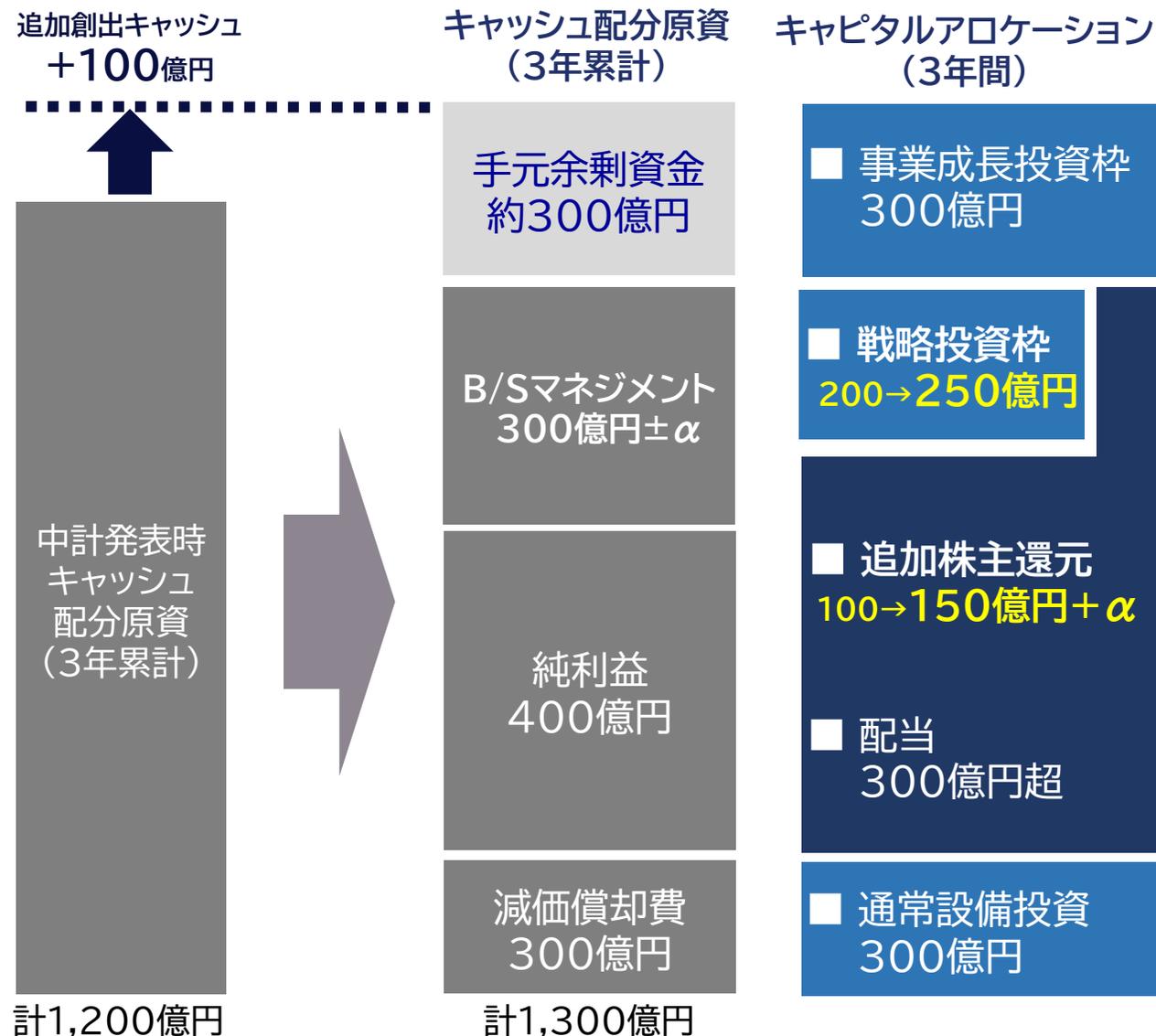


発表会の様子

6月27日、ナイジェリア向け関数電卓「fx-9910NG PLUS 2nd Edition」の発表会を開催した。

本関数電卓は、ラゴス州政府教育省や現場の教師の意見を参考に、教育ニーズをおさえて作ったナイジェリア向けの専用機で、ラゴス州政府教育省の認証も取得。

模倣品の生まれにくい専用機の販売により、模倣品対策になることも期待している。



【基本方針（変更無）】

- ・コア事業への投資促進のため『事業成長投資枠』設定
- ・アライアンス等のための『戦略投資枠』設定
⇒ 未使用分は追加株主還元を検討
- ・余剰資金をキャッシュ配分原資として活用
- ・B/Sスリム化、及び株主還元強化により資本収益性の改善を図る

【進捗状況】

- B/Sマネジメントによるキャッシュ創出は遊休不動産売却や年金施策等により、計画以上の進捗
⇒ 追加創出キャッシュ +100億円
内、50億円は戦略投資枠増
50億円は追加株主還元配分
- 戦略投資枠は第一弾として株式会社Libryを子会社化、EdTech事業成長加速

	2023年3月期 実績	2024年3月期 実績
ROE	5.9%	5.3%
ROIC	4.7%	3.6%

ROIC = 税引後営業利益 ÷ 期首期末平均投下資本(有利子負債+純資産)

手元流動資金	1,307億円	1,447億円
自己資本比率	66%	66%

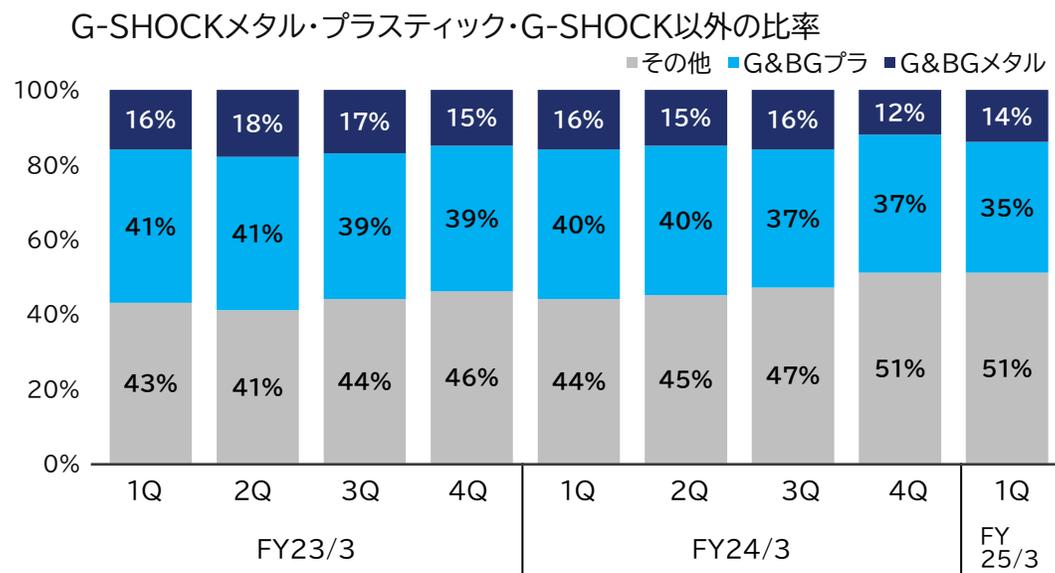
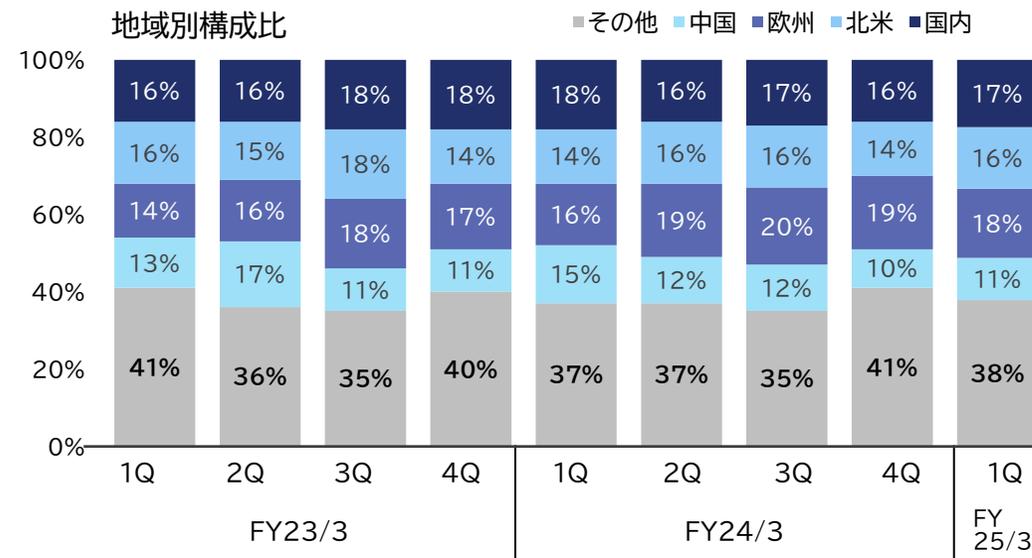
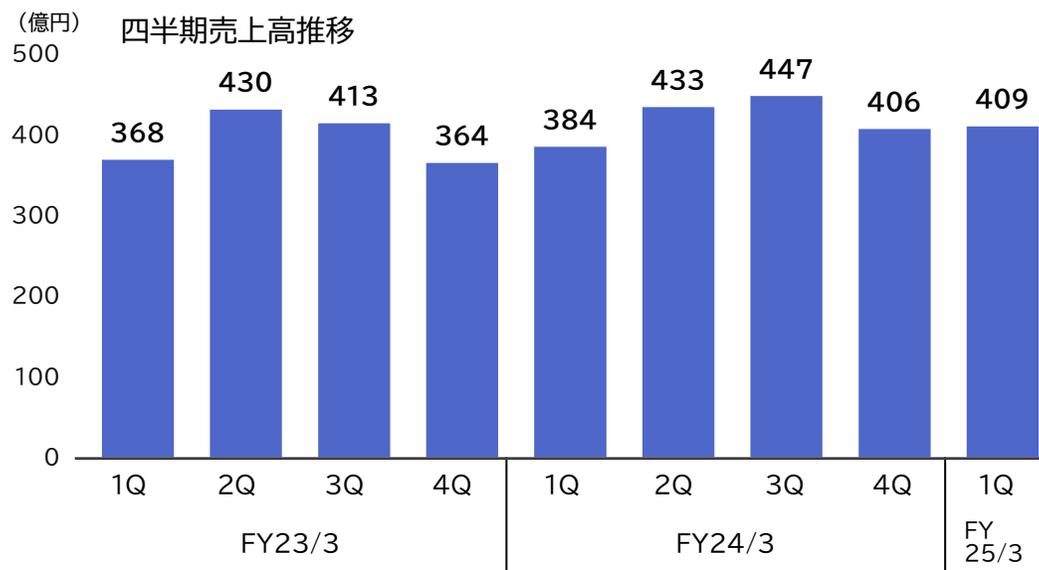
配当性向	82.3%	88.4%
DOE	4.9%	4.7%
総還元性向	99.4%	164.1%



2026年3月期 目標	
中計発表時	新目標
10%超	8%超
8%超	6%超
1,000億円水準	1,000億円水準
60%強	60%強
(中計3年間平均)	(中計3年間平均)
60%水準	80%水準
5%水準	5%水準
80%~120%	110%~170%

今期想定為替レート(円)		為替感応度 1円(人民元は0.1円)の変動による影響額	
		売上高	営業利益
米ドル	145	10億円	-0.5億円
ユーロ	160	3.0億円	2.0億円
人民元	20.0	1.4億円	0.7億円

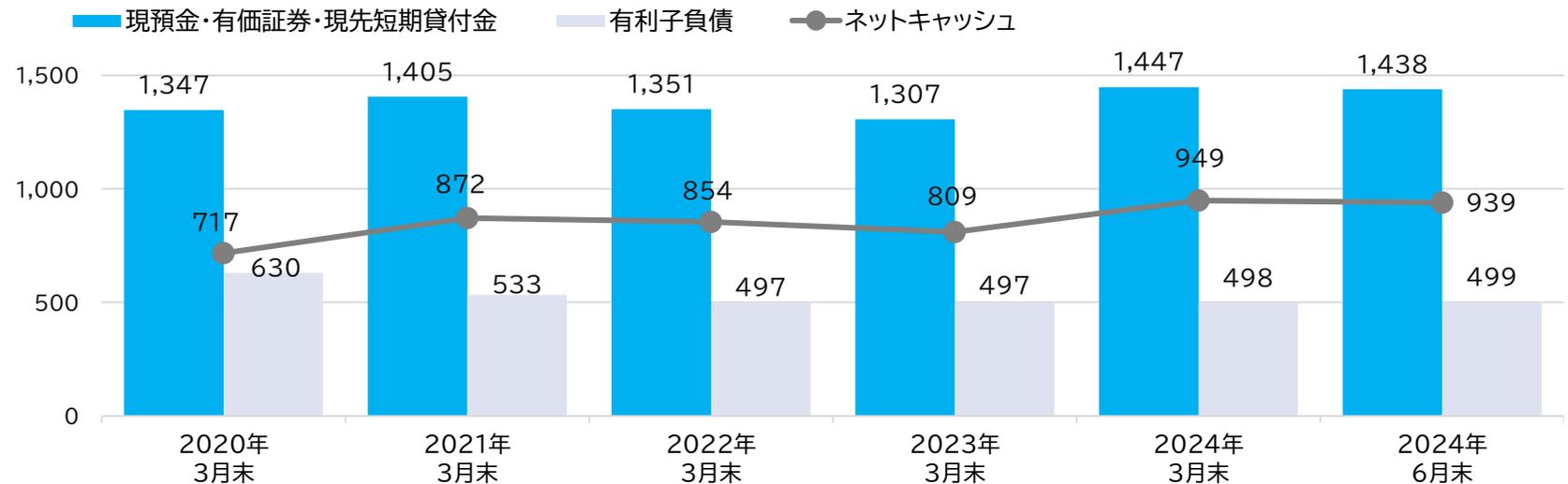
為替レート実績	第1四半期(4月~6月)	
	2023年度実績	2024年度実績
米ドル	137.4	155.9
ユーロ	149.5	167.9
人民元	19.6	21.5



貸借対照表

単位:億円

	2020年3月期 3月末	2021年3月期 3月末	2022年3月期 3月末	2023年3月期 3月末	2024年3月期 3月末	2025年3月期 6月末
資産合計	3,341	3,320	3,373	3,352	3,499	3,532
負債合計	1,316	1,201	1,184	1,136	1,187	1,207
自己資本比率	60.6%	63.8%	64.9%	66.1%	66.1%	65.8%
D/Eレシオ	0.31	0.25	0.23	0.22	0.22	0.21
現預金・有価証券・現先短期貸付金	1,347	1,405	1,351	1,307	1,447	1,438
有利子負債	630	533	497	497	498	499
ネットキャッシュ	717	872	854	809	949	939



本資料における業績予想及び将来の予想等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従って、実際の業績は、様々な要因により、これらの業績とは異なることがありますことをご承知おき下さい。

CASIO